

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3-44	平成29年度第1回墨田区女性活躍推進協議会		
開催日時	平成29年9月6日(水) 午前10時40分から11時10分まで			
開催場所	区役所8階 82会議室			
出席者	<p>【委員】【委員】13名出席</p> <p>【事務局】人権同和・男女共同参画課長、男女共同参画主査 すみだ女性センター館長、男女共同参画主事</p>			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる) 非公開(傍聴できない)	部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	0人
議題	<p>1 開会</p> <p>2 課長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 区内企業に向けてワーク・ライフ・バランス及び女性活躍を推進するための冊子の作成案について</p> <p>(2) ワーク・ライフ・バランスセミナーについて</p> <p>4 閉会</p>			
配付資料	<p>資料1 区内企業に向けてワーク・ライフ・バランス及び女性活躍を推進するための冊子の作成案</p> <p>資料2 ワーク・ライフ・バランス セミナー/座談会一覧</p>			
所管課	総務部 人権同和・男女共同参画課 男女共同参画担当 (内線5224)			

会 議 概 要

1 開会

事務局より、配布資料の確認を行ない、併せて、会議の公開と議事録作成のための録音について了解を求め、了承された。

2 課長挨拶

3 議事（司会：椎名会長）

（1）区内企業に向けてワーク・ライフ・バランス及び女性活躍を推進するための冊子の作成案について

事務局が、資料1に沿って、「平成29年度における区内事業者向け実態調査の実施及び調査結果の傾向」、「取り組みのポイント」、「冊子を作成する目的」、「冊子の概要」、「取り組み先進企業の紹介（3社程度）」、「配布先」の説明を行った。

【主な意見等】

委員：区内の事業者の関心が薄い中、例えば「残業時間を削減する方法」や、「女性のモチベーションを上げる方法」等が、企業が関心を持つように思う。

男女共同参画の理想からは若干離れるが、関心を持ってほしいという視点でいうと、メリットが見えるテーマを設定する方が良い。

委員：セミナーは毎年行っているのか。

事務局：毎年行っている。

委員：ワーク・ライフ・バランスの取り組みを全く行っていない企業にとって、「取り組みのポイント」に記載のある内容は、中小企業にとってはハードルが高い。

一方、「残業時間を削減する方法」については、労働基準監督署が発行する冊子と変わらないので、差別化を図る必要がある。

取り組み先進企業とは、どの程度の規模の会社なのか。

事務局：20～30名規模の従業員の会社を想定している。

委員：「残業時間の削減」や「年休有給休暇の取得」自体、ワーク・ライフ・バランスにつながることを強調すれば、労働基準監督署が作成した冊子との差別化は図れると考える。

委員：産休を取得した際の地域活動の経験が、会社に戻って以降、役に立つという会社経営者の経験談を聞いた。

現状、日本のワーク・ライフ・バランスは、内容自体、範囲が限定されているが、企業にとってのメリットが分かるように紹介すれば、様々な取り組みが生まれるのではないかと。

委員：モチベーションアップしないと良い仕事ができないし、企業の業績にも繋がらない。女性に対しても責任のあるポジションに配置する等の内容を入れても良い。ただし男性の理解、意識改革が必要である。男性自身も女性の目線を持つと、商品開発等のアイデアも面白いものが出てくる。

委員：中小企業が取り掛かり易い内容のものが良い。その中で男性自身が女性の活躍により、仕事を効率的に行えるということに気付いていただく内容が良いのではないかと。

委員：墨田区内の女性経営者が、女性に対しどのような配慮を行って、事業を展開しているか、人にやさしい経営者のあり方というのも大事である。

委員：女性活躍推進委員として冊子の方向性を提示するのであれば、レベルの高い内容を提示するべきであるが、区の地域性を考慮するのであればより基本的な内容を取り入れる、意識の掘り起こしを行うべきである。

委員：経営者の立場として冊子を拝見した場合、メリットのある内容であれば興味を持ち、従業員のモチベーションが上がることで業績が上がる、更に、無理なく実施できる取組であれば取り組んでみようかという気持ちになる。その他、補助金窓口の紹介等もある。

課長：冊子を開いた際に「お得感」があれば、取り組んでみようという気持ちになる。墨田区は「小規模の事業者の割合が多い。」ということを含頭において冊子を作成していく。

委員：意見交換会部会では、勉強会を開催することを検討し、関心を持った方に参加してもらいたいという話を聞いたが、ワーク・ライフ・バランスセミナーより勉強会を開催したほうが、区内中小企業経営者を呼びやすいのではないか。

委員：相談会という事業内容もある。

委員：ワーク・ライフ・バランスを社内に浸透させていくにはどうしたらよいか、と考えると難しい。有給休暇の積極的な取得等と呼びかけても、少数の従業員が欠けてしまうと、事業自体の続も困難になる。ワーク・ライフ・バランスを取り入れた上で、なお事業を停滞させないための具体例が必要である。

経営者目線で興味を引く内容というと、補助金・助成金の情報である。

どのような活動を行えば、助成を受けられるのか簡潔に書かれており、窓口の情報があれば読んでみようという気になる。

委員長：経営者に対するお得な情報を掲載するという考え方もあるが、この協議会の意見を反映させた上で、女性活躍を推進するための冊子を作成するということになると、働く女性のためのモチベーションを上げるための情報や、男性の意識改革等の基本的な内容を掲載する必要がある。

(2) ワーク・ライフ・バランスセミナーについて

資料2に沿って「ワーク・ライフ・バランスセミナー一覧」の説明を行った。

また、10月19日に東京との共催で実施する「育休後職場復帰セミナー」の概要について説明した。

【主な意見等】特になし

4 閉会

会長：これをもって、第1回墨田区女性活躍推進協議会を閉会する。

会議の概要は、以上である。